



個別指導塾フォルテ

×



算数

5年生

第2節

小数のわり算①



小数のわり算ができるようになろう！

【例題】 整数÷整数をわり切れるまで計算してみよう！

昌子選手は毎朝同じきよりを走っています。

4日で走ったきよりの合計が26kmであったとすると、

1日で走るきよりは何kmですか。わり切れるまで計算しましょう。



【とき方①】 基本となる考え方

①～③をうめてみよう

$26 \div 4 = \textcircled{1}$ あまり 2 km

あまった 2 kmをさらに 4でわると、

$2 \div 4 = \textcircled{2}$

となるので、

$26 \div 4 = \textcircled{3}$ km

答え : ① 6 ② 0.5 ③ 6.5

【とき方②】 筆算を利用したとき方

$$\begin{array}{r} 6 \\ 4 \overline{) 26} \\ \underline{24} \\ 2 \end{array}$$

整数のわり算と同じように
計算する

↓

$$\begin{array}{r} 6.5 \\ 4 \overline{) 26.0} \\ \underline{24} \\ 20 \\ \underline{20} \\ 0 \end{array}$$

小数点以下のくらいに
0があると考えて、
0をおろしてわり切れるまで計算
を続ける。

問題

ゼルビーは計算ドリルをやっています。
15分間で18問の問題をとくことができました。

ゼルビーは1分あたり、
何問の問題をとくことができましたか？

わり切れるまで計算しましょう。



とき方

答え

1分あたり

問

【コラム】 わり算とあまり

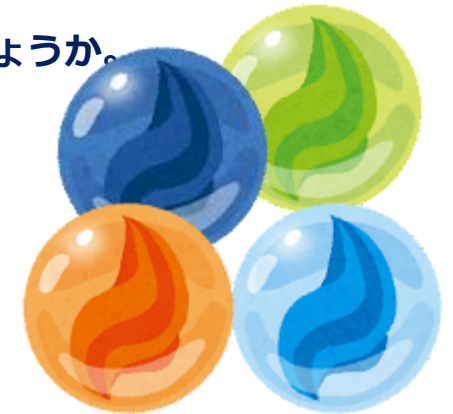
今回はわり切れるまで計算する小数のわり算を勉強しました。

今までの整数のはん囲で計算して、あまりを求める方法とどのように使い分けるのでしょうか。

2つの例題を考えてみます。

(1)14個のビー玉を4人で同じ数ずつ分けました。一人分は何個になりますか。

(2)14cmのひもを4人で同じ長さずつ分けました。一人分は何cmになりますか。

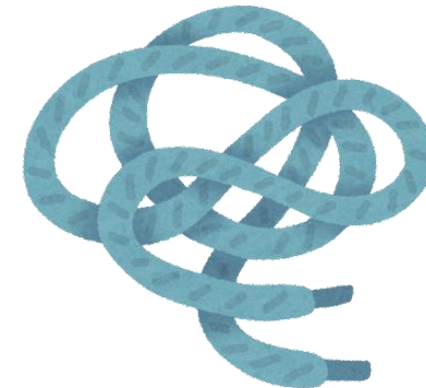


どちらの問題も、 $14 \div 4$ で求めることができるのは分かりますね。

しかしながら、一般的に答えはことなります。答えはそれぞれどうなるのか、またなぜそうなるのか考えてみましょう！

(なぜそうなるのかは次回に続きます)

それぞれの答え (1)3個ずつ分けて2個あまる (2)3.5cm



問題

F C町田ゼルビアのホームゲームで、
150mのトラックに、スパークラーをおいて12等分しました。

スパークラーは何mおきにおかれていますか。
わり切れるまで計算しましょう。



とき方

答え

m



個別指導塾フォルテ

×



算数

答え合わせ

5年生

第2節

小数のわり算①



小数のわり算ができるようになろう！

問題

ゼルビーは計算ドリルをやっています。
15分間で18問の問題をとくことができました。

ゼルビーは1分あたり、
何問の問題をとくことができましたか？

わり切れるまで計算しましょう。



とき方

式 $18 \div 15 = 1.2$

▼筆算でも計算してみよう！

▼考え方

$18 \div 15 = 1$ あまり 3

$3 \div 15 = 0.2$

だから

$18 \div 15 = 1.2$

$$\begin{array}{r}
 1.2 \\
 15 \overline{) 18.0} \\
 \underline{15.0} \\
 3.0 \\
 \underline{3.0} \\
 0
 \end{array}$$

答え

1分あたり

1.2 問

問題

F C町田ゼルビアのホームゲームで、
150mのトラックに、スパークラーをおいて12等分しました。

スパークラーは何mおきにおかれていますか。
わり切れるまで計算しましょう。

とき方

式 $150 \div 12 = 12.5$

答え 12.5m

▼考え方

$150 \div 12 = 12$ あまり6

$6 \div 12 = 0.5$

だから

$150 \div 12 = 12.5$

答え

12.5 m